堅いアイスクリームの謎　新幹線の車内販売

私は新幹線を利用したとき、たまに車内販売のアイスクリームを購入します。このアイスクリームがとても固いのです。なぜ、こんなに固いのか、あるとき、その理由を調べてみました。理由の一つは、濃厚でしっとりとした食感にするため、アイスクリームン中の空気の含有量を抑えて、アイスの密度を高めていることでした。また、社内販売では、よりおいしい状態で提供できるように、ドライアイスで徹底して温度管理をしていることから、通常より固めになることがわかりました。

このアイスクリームは、製造元であるスジャータめいらく株式会社の創業者：日比孝吉氏が、「日本を代表する新幹線の中で食べるのにふさわしいと特別なアイスクリームを！」と、とことん品質にこだわったことで生まれたそうです。

固さの理由に納得し、おいしさの背景を知ることができて、ますます新幹線のアイスクリームのファンになりそうです。これからも、こうした疑問を持った際は、億劫（おっくう）がらずにいろいろと調べてみたいと思います。

ひと声の親切　困っている人に手を差し伸べられる人に！

駅や街中で外国人を見かけることが多くなりました。5 年前に約 1 千万人だった訪日外国人数は、昨年約 3 千万人と、3 倍以上に増えています。

東京都内で勤務するＫさんは、通勤の車内や駅で、よく外国観光客を目にします。混雑する車内に大きなスーツケースを持ち込んだり、改札前で右往左往したりする姿に困惑することもありました。ある朝、Ｋさんは駅のホームで、大きな荷物を持って困っている様子の外国人家族を見かけました。乗る電車が分からないようです。すると、一人の若い女性が近付いて日本語で話しかけ、身振りと筆談でその一家を案内し始めました。その女性と別れた外国人家族は、不安そうな顔が一掃され、にこやかな笑顔で電車に乗り込みました。その光景をとても清々しく感じたＫさん。今まで、英語が話せないからと理由をつけて手助けしなかった自分を省みました。

困っている人を見かけたとき、相手の国籍にかかわらず、手を差し伸べられる自分でありたいと心を新たにしたＫさんでした。